



会津坂下町立坂下南小学校だより

令和2年度 第17号

発行日: 令和2年10月27日

発行者: 校長 冠木 誠

みなみの空



学習発表会ができました 10月24日



コロナ禍の中、2部に分けたり、入場者を1家族1名でお願いしたりして実現した学習発表会でしたが、お陰様で大成功でした。観覧を楽しみになさっていた皆様には、申し訳ありませんでした。お詫びとともに、ご協力のお陰で学習発表会が実現できたことに、御礼申し上げます。子ども達がせっかく頑張ってきた練習したことを生かすための対応をさせていただきました。発表の場を確保するための選択ですので、どうかご容赦いただきますようお願い申し上げます。

さて、今回の学習発表会には大切にしたい事がありました。「学校行事が子ども達のものになっている学校」です。年度当初から職員で共有してきました。このため、大人が準備した内容を訓練のように身に付けていく練習ではなく、自分たちで考えて試行錯誤しながら準備を進めていく練習を大切にしてきました。

行事の練習は、大人が仕切って能率よくやった方が、でき映えがよくなります。逆に、子ども達が話し合いながら、失敗したりやり直したりして練習すれば、大人主導ほどのでき映えにはならないかもしれません。しかし、大人に言われた通りにして成功する行事よりも、自分たちの考えで進んで悩んだり話し合ったりしながら進んだ子ども達の方が何倍も成長します。実は、担任の手間は、子ども達の考えを実現しながら進む方が数倍大変です。



一方、集団で一つのことに向かっていくことが苦手なお子さんもいます。自分のペースを乱されたり、苦手なことをさせられたりするの辛い子です。学校では、無理強いをできるだけ無くして、集団活動が苦手なお子さんが仲間と一緒に頑張るよさを味わえるように努力しました。その子その子のペースで前向きに取り組む姿があれば、どの子も100点です。

お子さんの学習発表会への関わり方はどうだったでしょう？家でも学習発表会の練習をしていた子や、ご家族に自分たちの発表内容を熱く語っていれば大成功です。また、「自分なりに頑張った。」も同じくらい大成功です。ご覧になれなかった方も是非お子さんに聞いてみてください。



教育支援について



学習発表会の練習期間になると、子ども達一人一人の個性が発揮されます。発表の準備で、次々とすてきなアイデアを出す子、友だちをまとめる子、楽しい雰囲気をつくる子、黙って働く子…。実は、学校へ行くのが辛くなる子、みんなと一緒にいるのが苦しくなる子も見えてきます。

学校では、行事に向けて全体が走っているときに、そこに合流できない子がいることに気を付けて配慮しています。ともすると、キラキラ輝いている子に隠れてしまいますから、意識的に見守るようにしています。

今、学校では来年度の教育支援について考える時期になっています。学校には、その子のニーズに応じて普通学級、特別支援学級、通級指導教室を用意しています。普段の学校生活に困り感のあるお子さんに、適切な支援を提供できるように考えていますので、お困りやご心配がある場合は何なりとご相談ください。

また、学校での様子から私たちからご相談申し上げることもあります。ご理解とご協力をお願いします。

